

## 2010年2月期 第2四半期決算短信(非連結)

2009年9月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 チェルト株式会社

コード番号 3354 URL <http://www.certo.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芳賀 直人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理統括部長

(氏名) 柴山 浩

TEL 043-351-2511

四半期報告書提出予定日 2009年10月1日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2010年2月期第2四半期の業績(2009年2月21日～2009年8月20日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2010年2月期第2四半期	34,958		1,864		1,905		1,108	
2009年2月期第2四半期	34,936	9.9	1,818	11.9	1,871	12.0	1,106	9.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2010年2月期第2四半期	111.98	111.81
2009年2月期第2四半期	111.75	111.72

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2010年2月期第2四半期	30,161	15,588	51.6	1,573.14
2009年2月期	29,144	14,977	51.4	1,512.20

(参考) 自己資本 2010年2月期第2四半期 15,572百万円 2009年2月期 14,969百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2009年2月期		0.00		69.00	69.00
2010年2月期		0.00			
2010年2月期 (予想)				70.00	70.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 2010年2月期の業績予想(2009年2月21日～2010年2月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,500	2.5	3,700	2.7	3,720	0.1	2,200	1.3	222.24

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2010年2月期第2四半期	9,900,000株	2009年2月期	9,900,000株
期末自己株式数	2010年2月期第2四半期	771株	2009年2月期	771株
期中平均株式数(四半期累計期間)	2010年2月期第2四半期	9,899,229株	2009年2月期第2四半期	9,899,325株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における景気動向は、昨年後半からの景気低迷はやや沈静化したものの、企業収益や雇用情勢の悪化等から個人消費の回復には至っておらず、大変厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社はお客さまのご要望に対応すべく納入価格の低減や環境に対応した商品開発等を行い、取り扱い商材の拡大や新規顧客の開拓に取り組みました。

資材関連事業では、当期の重点課題である商品開発機能を強化し、お客さまのコスト削減・環境対応のご要請にお応えしたオリジナル商品の開発に取り組みました。特に今春の新型インフルエンザ発生時には、リスク対策商品としてマスク・使い捨て手袋等を詰め合わせた「衛生用品セット」の供給を開始し、需要増加に対応するため、中国を主とする海外製造工場からの調達ルートを構築いたしました。

自動販売機関連事業では、夏場の天候不順や、低価格志向により自動販売機における飲料商品の販売が伸び悩みましたが、イオンの電子マネーカード『WAON(ワオン)』対応自動販売機の設置拡大や、オリジナルのミネラルウォーターの自動販売機への投入及び、当社WEB通販『ちえるねっと』による拡販等に取り組みました。

また、新たな取り組みであります事業所後方支援サービスのひとつとして、ショッピングセンター内に従業員さまを対象としたミニ売店『CERTO PLUS(チェルトプラス)』を開設いたしました。今後、販売動向等の検証を行い、ショッピングセンター内のテナント・従業員さま向けサービスを拡充してまいります。

これらの結果、当第2四半期累計の業績は、売上高349億58百万円(前年同期比100.1%)、営業利益18億64百万円(前年同期比102.5%)、経常利益19億5百万円(前年同期比101.8%)、四半期純利益11億8百万円(前年同期比100.2%)と増収増益を達成することができました。

前年同期比は、参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態

当第2四半期会計期間末における総資産は301億61百万円となり、前事業年度末と比較して10億16百万円の増加となりました。これは主に売掛金及び未収入金が増加したことによるものであります。

負債総額は145億72百万円となり、前事業年度末と比較して4億5百万円の増加となりました。これは主に買掛金及び未払金が増加したことによるものであります。

また、純資産は155億88百万円となり、前事業年度末と比較して6億11百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ21億93百万円減少し51億16百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得た資金は、11億8百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が18億90百万円となったこと、減価償却費4億10百万円、賞与引当金の増加59百万円、商品の減少1億93百万円及び仕入債務の増加1億74百万円による収入と、売上債権の増加5億65百万円、未収入金の増加5億17百万円及び法人税等の納付8億52百万円等の支出によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、26億19百万円となりました。これは主に、定期預金の預入20億円及び固定資産の取得6億19百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、6億82百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

今後、お客さまのコスト削減ニーズは、更に強くなっていくことが予測されます。当社といたしましては、このような状況をチャンスととらえ、資材関連事業では、商品開発および製造工場直接調達による価格競争力の強化、物流の構造改革により、お客さまのコスト削減と業務効率化を実現してまいります。あわせて、自動販売機関連事業につきましても価格競争は激しさを増しておりますが、引き続き新アイテムの投入に注力し、競争力のある「WAON（ワオン）」対応自動販売機の積極的な設置拡大を行う等、更なる業容の拡大を目指します。また、新たな事業として、館内ES（従業員満足）サービスと併せ、給与計算業務、福利厚生のアウトソーシングサービスを事業化し事業領域の拡大を図ってまいります。

以上により、現時点においては、2009年4月6日に発表した2010年2月期の業績予想については変更はありません。通期の業績見通しといたしましては、売上高725億円（前年同期比102.5%）、営業利益37億円（前年同期比102.7%）、経常利益37億20百万円（前年同期比100.1%）、当期純利益22億円（前年同期比101.3%）と予測しております。

### 4. その他

#### (1) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

##### たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更いたしました。

評価方法を原価法から原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）へ変更することについては、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことによるものであります。また、評価方法を先入先出法から移動平均法へ変更することについては、第1四半期会計期間からの「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用を機に会計処理の見直しを行った結果、期間損益計算と在庫評価の適切化を図る目的で行ったものであります。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比較して、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ32,071千円減少しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (2009年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2009年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,123,192	6,314,759
受取手形及び売掛金	9,103,789	8,538,432
商品	1,917,708	2,111,785
関係会社預け金	5,000,000	5,000,000
未収入金	1,765,580	1,247,699
その他	168,812	263,292
貸倒引当金	3,353	8,410
流動資産合計	24,075,730	23,467,559
固定資産		
有形固定資産	2,182,258	2,185,525
無形固定資産	399,499	287,314
投資その他の資産		
投資有価証券	850,744	552,801
関係会社出資金	50,000	50,000
長期貸付金	800,000	800,000
長期預金	1,700,000	1,700,000
その他	103,960	118,595
貸倒引当金	1,166	17,138
投資その他の資産合計	3,503,537	3,204,259
固定資産合計	6,085,295	5,677,098
資産合計	30,161,026	29,144,657
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,112,561	11,937,693
未払法人税等	812,600	881,000
賞与引当金	64,421	5,341
役員賞与引当金	-	51,876
役員業績報酬引当金	13,001	-
その他	1,278,133	1,105,710
流動負債合計	14,280,717	13,981,620
固定負債		
繰延税金負債	188,002	75,142
退職給付引当金	92,166	82,446
長期未払金	11,280	27,950
固定負債合計	291,449	185,538
負債合計	14,572,167	14,167,159

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (2009年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2009年2月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,222,500	1,222,500
資本剰余金	1,463,700	1,463,700
利益剰余金	12,536,677	12,111,211
自己株式	1,761	1,761
株主資本合計	15,221,116	14,795,650
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	351,750	173,934
評価・換算差額等合計	351,750	173,934
新株予約権	15,992	7,913
純資産合計	15,588,859	14,977,498
負債純資産合計	30,161,026	29,144,657

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2009年2月21日 至 2009年8月20日)
売上高	34,958,180
売上原価	31,747,016
売上総利益	3,211,163
販売費及び一般管理費	1,346,311
営業利益	1,864,852
営業外収益	
受取利息	33,415
受取配当金	8,236
雑収入	5,407
営業外収益合計	47,060
営業外費用	
雑損失	6,592
営業外費用合計	6,592
経常利益	1,905,320
特別利益	
貸倒引当金戻入額	5,320
役員賞与引当金戻入額	5,097
特別利益合計	10,418
特別損失	
固定資産除却損	25,665
特別損失合計	25,665
税引前四半期純利益	1,890,073
法人税、住民税及び事業税	792,402
法人税等調整額	10,842
法人税等合計	781,560
四半期純利益	1,108,513

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自 2009年5月21日 至 2009年8月20日)
売上高	18,080,225
売上原価	16,251,127
売上総利益	1,829,097
販売費及び一般管理費	639,941
営業利益	1,189,155
営業外収益	
受取利息	16,337
受取配当金	114
雑収入	5,391
営業外収益合計	21,844
営業外費用	
雑損失	2,591
営業外費用合計	2,591
経常利益	1,208,408
特別利益	
貸倒引当金戻入額	5,320
特別利益合計	5,320
特別損失	
固定資産除却損	25,611
特別損失合計	25,611
税引前四半期純利益	1,188,117
法人税、住民税及び事業税	526,482
法人税等調整額	33,959
法人税等合計	492,523
四半期純利益	695,593

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2009年2月21日 至 2009年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,890,073
減価償却費	410,706
貸倒引当金の増減額(は減少)	21,028
賞与引当金の増減額(は減少)	59,080
役員業績報酬引当金の増減額(は減少)	38,874
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,720
受取利息及び受取配当金	41,652
固定資産除却損	25,665
売上債権の増減額(は増加)	565,356
たな卸資産の増減額(は増加)	193,809
未収入金の増減額(は増加)	517,880
仕入債務の増減額(は減少)	174,867
その他	343,792
<b>小計</b>	<b>1,922,923</b>
利息及び配当金の受取額	38,271
法人税等の支払額	852,996
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,108,198</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	2,000,000
関係会社預け金の預入による支出	2,500,000
関係会社預け金の払戻による収入	2,500,000
有形固定資産の取得による支出	413,071
無形固定資産の取得による支出	206,388
投資有価証券の取得による支出	93
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,619,553</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	682,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>682,092</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,193,447
現金及び現金同等物の期首残高	7,310,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,116,674

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 2008年2月21日 至 2008年8月20日)		
	金額(千円)		百分比 (%)
売上高		34,936,212	100.0
売上原価		31,794,127	91.0
売上総利益		3,142,084	9.0
販売費及び一般管理費		1,323,574	3.8
営業利益		1,818,510	5.2
営業外収益		53,379	0.2
営業外費用		-	-
経常利益		1,871,889	5.4
特別利益		19,186	0.0
特別損失		15,657	0.0
税引前中間純利益		1,875,418	5.4
法人税、住民税及び事業税	782,969		
法人税等調整額	13,781	769,188	2.2
中間純利益		1,106,230	3.2

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 2008年2月21日 至 2008年8月20日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	1,875,418
減価償却費	371,196
貸倒引当金の増加額	3,451
賞与引当金の増加額	60,258
役員賞与引当金の減少額	30,810
退職給付引当金の増加額	8,797
受取利息及び受取配当金	52,048
固定資産除却損	15,657
売上債権の増加額	266,226
たな卸資産の増加額	552,403
未収入金の減少額	11,712
仕入債務の増加額	432,364
その他	38,423
小計	1,838,945
利息及び配当金の受取額	44,543
法人税等の支払額	944,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	939,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	
関係会社預け金の預入れによる支出	2,500,000
関係会社預け金の払戻しによる収入	2,500,000
有形固定資産の取得による支出	340,390
無形固定資産の取得による支出	25,394
投資有価証券の取得による支出	4,826
関係会社出資金の払込による支出	50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	420,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	74
配当金の支払額	659,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	659,520
現金及び現金同等物の減少額	140,747
現金及び現金同等物の期首残高	7,021,636
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,880,888

6. その他の情報

四半期販売実績

第2四半期累計期間

(単位：千円未満切捨)

事業の名称	当第2四半期累計期間 自 2009年2月21日 至 2009年8月20日	前中間会計期間 自 2008年2月21日 至 2008年8月20日	(参考) 前事業年度 自 2008年2月21日 至 2009年2月20日
(資材関連事業)	( 17,796,962 )	( 16,042,460 )	( 34,505,923 )
ストア・オフィス資材	11,366,516	10,509,773	22,684,303
印刷用紙・食品原料	1,505,059	1,821,468	3,601,860
商品パッケージ	4,925,386	3,711,218	8,219,759
(自動販売機関連事業)	( 17,161,218 )	( 18,893,752 )	( 36,239,733 )
飲料商品	14,419,156	16,041,192	30,891,483
玩具商品	1,399,617	1,634,425	3,079,387
その他(機械)	755,270	935,955	1,851,722
販売受入手数料	587,174	282,179	417,139
合計	34,958,180	34,936,212	70,745,657

(注) 1. 事業間の取引はありません。

2. 本表の金額には消費税等は含まれておりません